

演題名 : ヘアカット【 *Lift up Cut* 法による心身への影響 】

筆頭社名 : 砂山國男

キーワード : ヘアカット技術、脳波、咬み合わせ調整

【目的】

毛髪のヘアカット技術である *Lift up Cut* 法により脳波や咬合力の変化等に好結果を得たので報告する。

【方法】

- 〔実験1〕 クライアントと技術者〔砂山〕の脳波を同時に計測し、毛髪部位波両者共に左前頭葉の単極誘導。測定装置は日立デバイス製を使用。ノートパソコンを用いてFFT〔高速フーリエ変換〕を行い、リアルタイムで波形分析する。
- 〔実験2〕 カットの前後で①安静②クラシック音楽を聴く③暗算を行う、という課題をすべて閉眼で行い、 α 波について解析。
- 〔実験3〕 カットの前後で脳波の状態と、オーラ・チャクラの状態を測定。
- 〔実験4〕 専用の感圧フィルムを用いたデンタルプレスケール検査法により、咬合接触面積、平均圧、最大圧、咬合力をカット前、カット後で測定。

【結果】

- 〔実験1〕 3人の被験者に対して行ったが3回から8回の α 波の共鳴が見られ α 波の平均強度が25%から30%に増大した。
- 〔実験2〕 ②クラシック音楽を聴く③暗算を行う、に関しては α 波が大きくなったが、またカット後には左右の α 波のバランスが取れた。
- 〔実験3〕 カット後の脳波は α 波の〔ミッド〕が特にバランスが取れた。またチャクラはカット前より活発し全体的にバランスが取れた。
- 〔実験4〕 2人の被験者に対して行ったが2人共カット後、咬合接触面積、咬合力には増加が見られた。また1名に関しては、カット前は咬合の重心が右にずれていたが、カット後はその重心が中央になり、理想的な状態になっていた。11ヵ月経過した今もその状態は持続している。
- 〔実験1〕から〔実験4〕に共通して、被験者はカット後には両頬が引き締まり、フェイスラインがシャープに若々しくなるという容姿の変化が見られた。

【考案】

いずれの実験でもカット後には大きな変化が見られ、心身ともに好影響があるという可能性が示唆された。

【結論】

毛髪のヘアカット技術である *Lift up Cut* 法は脳波や咬合力の変化等、心身への好影響をもたらすと考えられた。